

事業報告

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

公益財団法人 奈良先端科学技術大学院大学支援財団は、国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学が持つ斬新かつ優れた特性および機能が最大限に発揮されるよう、事業計画にもとづき、各種支援事業・地域交流事業に取り組みました。

各事業の実績については、以下のとおりです。

1. 大学院大学に対する支援事業

令和5年3月1日に開催した支援事業選考委員会において、令和5年度の大学院大学に対する支援事業の内容を以下のとおり決定し、33,700千円の助成金を交付しました。

(1) 教育研究活動に対する支援

① 研究テーマ助成

10名、16,000千円(助教6名、10,000千円/博士後期課程学生4名、6,000千円)

(実績10名、16,000千円(助教6名、10,000千円/博士後期課程学生4名、6,000千円))

氏名	所属・職名	研究テーマ
PHAM HOAI LUAN	情報科学領域 コンピューティング・アーキ テクチャ研究室・助教	Ultra-efficient Universal Blockchain Accelerator for Smart Society 5.0.
小牧 伸一郎	バイオサイエンス領域 植物二次代謝研究室・助教	RNA 編集を介した表層微小管チェックポイント機構の解明
椎森 仁美	バイオサイエンス領域 RNA 分子医科学研究室・助教	マダニの新規小分子 RNA 機構とマダニ媒介性ウイルスの相互作用の解明
篠塚 琢磨	バイオサイエンス領域 発生医科学研究室・助教	個体の生命力を利用した神経難病の革新的治療法の開発
加藤 匠	物質創成科学領域 量子物理工学研究室・助教	放射線治療における準リアルタイム計測を目指した輝尽蛍光体の開発
真島 剛史	物質創成科学領域 機能超分子化学研究室・助教	タンパク質計算機デザイン技術を基盤としたc型ミニヘム人工酵素の創出
松永 拓也	先端科学技術研究科 情報基盤システム学研究室・博士後期課程1年	省コストを考慮した屋内測位システムに関する研究
大塚 菜那	先端科学技術研究科 花発生分子遺伝学研究室 博士後期課程2年	低分子化合物と熱による植物の開花時期の制御
森本 裕詞	先端科学技術研究科 機能有機化学研究室 博士後期課程3年	紫外吸収から可視・近赤外吸収へと変化するフォトクロミック材料の開発

Kamolchanok Sarisuta	先端科学技術研究科 ナノ高分子材料研究室 博士後期課程 2年	Polymer synthesis for controllable degradation using trimethylene carbonate
----------------------	--------------------------------------	---

②新任教授スタートアップ助成

新任教授が研究体制を整備して研究活動をスムーズに始められるよう支援しました。

3名、4,500千円（実績3名、4,500千円）

氏名	所属・職名	研究テーマ
峠 隆之	バイオサイエンス領域・教授	代謝物の細胞内局在解析を目的としたメタボロミクス法の構築
富谷 茂隆	データ駆動型サイエンス創造センター・教授	マルチモーダル光物性／構造解析評価技術の研究とその応用
香月 浩之	物質創成科学領域・教授	振動ポラリトンの中赤外波長過渡透過スペクトル測定用アップコンバージョン系の構築

③社会人ドクター修学支援

企業に所属している社会人の修学を促進するため、社会人学生のうち、入学料と授業料を自己負担して博士後期課程に入学する学生に対する支援を行いました。

10名 2,000千円（実績8名 1,600千円）

(2)国際交流活動に対する支援

①海外派遣支援

海外の国際会議等において、研究成果を発表する博士後期課程学生を支援しました。

32名、5,609千円（実績24名、3,926,104円）

②外国人留学生支援

教育研究の国際化を推進するため、博士後期課程に入学する外国人留学生の中から大学院大学が選考した留学生に対し、渡日旅費と入学料を支援しました。

6名、2,652千円（旅費支援960千円／入学料支援1,692千円）

（実績 5名、1,992,455円（旅費支援582,455円／入学料支援1,410,000円）

③大学間交流活動支援

学術交流協定に基づき、タイ・カセサート大学におけるソフトウェア分析に関する研究開発、並びにパリサクレ大学とのダブルディグリープログラムによる共同研究等を行うための渡航費用を支援しました。

8名、1,799千円（実績7名、1,312,958円）

(3)アワード事業

①NAIST最優秀学生賞

学習や研究に対する意欲を高めるため、令和6年3月22日に開催された学位記授与式におい

て、優秀な成績を修めた博士前期課程と博士後期課程の修了生を理事長名で表彰し賞金を授与しました。

(実績)14名、840千円

情報科学領域	博士前期課程	LIU HUAKUN、VASSELLI JUSTIN RAY、 大武 一平
	博士後期課程	THONGLEK KUNDJANASITH、 福田 りょう、笹田 大翔
バイオサイエンス領域	博士前期課程	宮嶋 渚、上原 由梨奈
	博士後期課程	小林 利紗、NORSHIMA BINTIABU HASAN
物質創成科学領域	博士前期課程	西川 晃弘、衣川 翼
	博士後期課程	甚上 知美、勝見 志穂

②教員表彰

教育研究活動で優れた業績を挙げた教員に対する表彰に際し、賞金を贈呈しました。

(実績)2名、300千円

情報科学領域 「ベストティーチング賞」
情報科学領域 教授 和田 隆広
バイオサイエンス領域 「バイオ領域賞」
対象者なし
物質創成科学領域 「NAIST 学術奨励賞」
物質創成科学領域 助教 Pandey Manish

2. 先端科学技術の普及啓発事業

大学院大学が理念の一つとして「社会の発展や文化の創造に向けた学外との密接な連携・協力の推進」を掲げ、積極的に取り組んでいる、いわゆる産学官連携推進の活動のうち、当財団は2つの取り組みに関わり、大学院大学支援事業とは別枠で支援を行いました。

(1)産学官交流事業

①奈良先端大発 新産業創出支援事業

大学院大学では「企業や他の大学との共同研究」や「企業からの受託研究」、「企業からの研究者の受け入れ」を行っていますが、これとは別に、大学院大学で生まれた研究成果や技術シーズの実用化・製品化を目指して、関西地区の中小企業やベンチャー企業と連携して研究開発に取り組む場合に、研究開発費用の一部を支援しました。

2件、2,000千円

大学研究者	連携企業	研究開発テーマ	
情報科学領域 教授 飯田 元	(株)EASE創研	ソフトウェアのコードレビュー支援を 対象とした機械学習モデルの応用手法	新規
研究推進機構 特任教授 高木 博史	テンフィールズ ファクトリー(株)	機能性アミノ酸高生産酵母の育種技術を 活用したクラフトビールのブランド化	新規

②奈良先端大産学連携フォーラム

産学官連携活動を推進し社会の発展に寄与するため、大学院大学の先端的で独創的な研究成果を紹介するとともに、大学院大学の研究者と産業界の研究者・技術者との交流を図ることを目的として、大学院大学、公益社団法人関西経済連合会および当財団の共催で第36回目となるフォーラムを開催しました。

フォーラムでは、大学院大学の太田淳理事・副学長による開会挨拶の後、令和元年度より始めましたテーマ「未来社会への提案」の第3弾として、医療・健康からのアプローチを紹介しました。

テーマ 「未来社会への提案 vol.3～医療・健康からのアプローチ～」

開催日 令和5年7月20日（木）

場 所 中之島センタービル 29階会議室（大阪市北区）

講演 「MBT:医工連携の新たな形～科学技術最前線40年から見える世界～」

奈良県立医科大学 MBT研究所副所長 MBT担当教授 細川 洋治

「医用画像から骨と筋肉の健康状態を精密計測するAIの開発」

情報科学領域 生体医用画像研究室 教授 佐藤 嘉伸

「光・AI・バイオ技術が融合したPhotoceutical医工連携」

物質創成科学領域 生体プロセス工学研究室 教授 細川 陽一郎

参加者 34名

3. 地域交流事業

(1) 地域交流

先端科学技術に対する地域住民の関心を高めるとともに、地域住民との相互理解を深めるため、関西文化学術研究都市の高山地区に立地する7施設（大学院大学、参天製薬(株)奈良研究開発センター、上六印刷(株)、(株)Burley plus、(株)芦田製作所、(株)日阪製作所、当財団）で組織する「関西文化学術研究都市高山地区立地施設等連絡協議会」（以下「学研・高山連絡協」という。事務局は当財団）が交流事業を実施したほか、当財団単独でも交流事業を実施しています。

①高山サイエスタウンフェスティバル

学研・高山連絡協の主催により11月18日（土）に開催しました。高山サイエンスプラザにおいては、音楽会、親子科学教室が開催されるなど、来場者に楽しんでいただける1日となりました。

②NAISTサイエンス塾

大学院大学の教員や学生の指導の下、小学生を対象とした科学実験教室を開催しました（年7回）。

開催月

4月 「私たちの体の設計図、DNAを抽出してみよう！」

5月 「パンを作る生き物「イースト」のひみつに迫ろう」
6月 「対戦ゲームでAIプログラミングに挑戦しよう！」
7月 「空気抵抗だけで、より遠く、より長く飛ぶ折り紙ヒコーキ作りに挑戦しよう」
9月 「集まれ科学者のたまご達！ ～電気と磁気を操ろう～」
10月 「光と海の波の共通点 温めたチーズから見えるもの！」
12月 「7色に変わる野菜で遊んでみよう！ すっぱい色？ にがい色？」
場 所 高山サイエンスプラザ 研修室
参加者 小学生240人

③夏休み科学実験教室

夏休み期間中に、奈良女子大学理学部教授の小林毅氏を講師として、小学生を対象とした科学実験教室を開催しました。

開催日 令和5年8月5(土)
場 所 高山サイエンスプラザ 大研修室
内 容 「空気と遊ぼう！空気砲・室内たこで科学しよう」
参加者 小学生46人

④科学に関する絵画展

近隣の市町の小学生から科学をテーマとする絵画を公募し、集まった346点の中から優れた作品を表彰し、理事長賞、優秀賞および入選の50作品を、高山サイエンスプラザに展示しました。

理事長賞8点、優秀賞14点、入選28点

⑤高山サイエンスプラザ定期音楽会

学研・高山連絡協の協賛を得て実施する若手音楽家による演奏会（プチコンサート in 高山 年4回開催）を発展拡大し、定期音楽会として開催しました。

開催月 4月、5月、6月、9月、10月
場 所 高山サイエンスプラザ オープンギャラリー
参加者 226人

⑥サイエンスランド

遊びを通じ、幼児等が科学に芽生える場として、園児の科学体験の集団利用に活用されています。奈良先端大の各研究室よりソーラーカーなどの提供を受けたほか、これらの研究室をPRするパネルも併せて掲出しています。

(2) 情報発信

当財団のホームページ (URL : <http://www.science-plaza.or.jp>) において、催事などのお知らせのほか、財団の業務・財務に関する情報を適時公開しました。

4. 高山サイエンスプラザおよび駐車場の運営

高山サイエンスプラザおよび高山サイエンスタウン駐車場の運営状況は以下のとおりです。

(1) 高山サイエンスプラザ見学の状況

カルチャーセンターの現地講座や地域団体による見学のほか、一般開放しているサイエンスランドなどを自由に利用していただきました。

(2) レンタルオフィスおよび研究者用住戸の状況

レンタルオフィスには、令和5年度中に新たにテナント2社が入居し、計4社の入居となりました。また、研究者用住戸は海外からの研究者など延べ118人月の利用がありました。(前年度110人月)

(3) 会議室・研修室等の利用状況

大研修室は、「NAISTサイエンス塾」、オープンギャラリーは「プチコンサート・定期音楽会」など、当財団の地域交流事業の会場として使用しました。さらに、屋上の一部を通信事業者2社に携帯電話無線局設置のため賃貸し、年間を通して使用させました。

(4) 高山サイエスタウン駐車場の利用状況

駐車場については、1年間を通して定期券は1ヶ月券・3ヶ月券・6ヶ月券合計で約1,400枚、また1回駐車券は約9,600枚の売上となりました。

(5) 施設・設備の維持管理の状況

設備等の老朽化に伴う修繕として、高圧受変電設備(継電器等)の改修(工事費6,765千円)、排煙窓の修繕(工事費4,400千円)、トイレ改修(工事費2,860千円)等を行いました。

5. その他

(1) 理事会の開催

①第54回理事会

開催日 R5年5月12日(金) (定款の規定に基づく決議の省略)
<議案>第35回評議員会の招集

②第55回理事会(通常)

開催日 R5年6月8日(木) 現地開催(高山サイエンスプラザ)及びWeb参加
<議案>(1)R4年度事業報告及び収支決算
(2)第36回評議員会の招集

③第56回理事会

開催日 R5年6月23日(金) (定款の規定に基づく決議の省略)
<議案>(1)理事長の選定
(2)専務理事の選定

④第57回理事会

開催日 R5年7月13日(木) (定款の規定に基づく決議の省略)
<議案>第37回評議員会の招集

⑤第58回理事会

開催日 R6年1月22日(月) (定款の規定に基づく決議の省略)
<議案>第38回評議員会の招集

⑥第59回理事会(通常)

開催日 R6年3月12日(火) 現地開催(高山サイエンスプラザ)及びWeb参加
<議案>(1)R6年度事業計画及び収支予算

- (2) 特定資産の一部取崩し
- (3) 設備投資の見込みの変更
- (4) 支援事業選考委員会規則の改正

(2) 評議員会の開催

① 第 35 回評議員会

開催日 R5 年 5 月 19 日 (金) (定款の規定に基づく決議の省略)
<議案> (1) 評議員の選任
(2) 理事及び監事の選任

② 第 36 回評議員会 (定時)

開催日 R5 年 6 月 23 日 (火) 現地開催 (高山サイエンスプラザ)
<議案> (1) 令和 4 年度収支決算
(2) 特定資産の一部取崩し
(3) 評議員の選任
(4) 理事及び監事の選任

③ 第 37 回評議員会

開催日 R5 年 7 月 26 日 (水) (定款の規定に基づく決議の省略)
<議案> (1) 評議員の選任
(2) 理事の選任

④ 第 38 回評議員会

開催日 R6 年 2 月 2 日 (金) (定款の規定に基づく決議の省略)
<議案> 評議員の選任

以 上

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項については、該当なし。